

熊本地震の復興に貢献する 熊本大学の学術研究

熊本は、平成28年4月に最大震度7を2度観測する地震が発生し、人的、物的ともに甚大な被害を受けました。

この震災からの復興にあたり、熊本大学は地域に根ざす国立大学として、これまで集積してきた教育研究資源を活用し早期の熊本復興に貢献することを目的に、平成28年6月に「熊本復興支援プロジェクト」を立ち上げました。

本プロジェクトの中から、被災文化財のレスキュー事業、熊本城の石垣復旧事業、益城町復興まちづくり支援事業について、熊本の復興に果たした本学の学術的貢献を紹介します。

主催：日本学術会議九州・沖縄地区会議
共催：熊本大学
後援：公益財団法人日本学術協力財団、
熊本県、熊本市

2019年

2月27日 水

14:00～16:25

入場無料

申込不要

どなたもご参加
できます

場所

熊本大学 工学部百周年記念館

熊本市中央区黒髪2-39-1



お問い合わせ先

熊本大学 研究・産学連携部 研究推進課

TEL. 096-342-3146,3302

司会：慶田 勝彦（熊本大学大学院人文社会科学研究部 教授）

14:00～14:10 開会挨拶

武内 和彦（日本学術会議副会長）

原田 信志（熊本大学学長）

14:10～16:15 講演

1. 永青文庫細川家史料と地域史料
ー文化財レスキュー事業の経験からー
稲葉 継陽（熊本大学永青文庫研究センター 教授）
2. 画像処理を用いた石垣照合システムによる
熊本城復興支援
上瀧 剛（熊本大学大学院先端科学研究部(工学系) 准教授）
3. 益城町の復興まちづくりを支援する実践的研究
円山 琢也（熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授）

16:15～16:25 閉会挨拶

君塚 信夫（九州・沖縄地区会議代表幹事、
九州大学大学院工学研究院 教授）